

# 西南学院大学 図書館報

No. 77

昭和53年11月6日発行

西南学院大学図書館

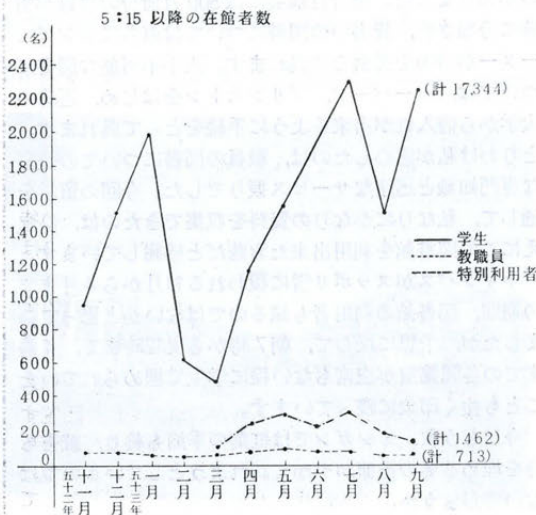
## 夜間開館

—その一年—

### 経過と展望

昨年10月より夜間開館を実施して丁度1年を経過しました。この夜間開館は、1階学習室を除く全館を、月～金曜日は勿論のこと、土曜日も含めまた休暇期間中もすべて午後9時まで開館する密度の高い夜間開館を制度化したものです。この年間を通じての夜間開館により、図書館利用者の利用時間の増加が、研究、学習効果の増大につながることはいうまでもありません。さて、この1年間の利用状況の傾向として、1) 着実に学内利用が増加したこと、2) 特に夏季休暇中も相当数の利用があったこと、3) 特別利用者が増加したこと等があげられます。この特別利用者とは、本学の卒業生、学外の研究者、相互利用の他大学学生等ですが、特に卒業生の調査、研究のための利用が目立ちます。また、司法試験等受験のため終日図書館を利用する所謂レギュラーメンバーの利用が増加しつつあるのも特徴です。これら特別

### 利用状況



※ 特別利用者数は52年11月～53年2月まで 学生の利用者数に含む



利用者が増加したことは、本学図書館の社会への開放を意味するといえます。この1年の利用状況からみて、夜間開館がさらに浸透、定着することにより、ますます学内外の利用者の増加が予想されます。図書館としては、諸資料の整備やサービス業務の強化および夏季冷房等の設備面での一層の充実を図り、利用者の快適な図書館利用ができるよう今後も努めるつもりです。(司書長 刀根淳)

### 反響

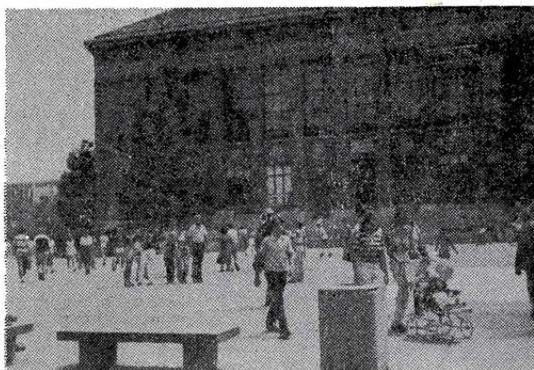
21時まで図書館が開いているのはとても助かる。夜間は日中に比べて読書の時間をとりやすいし、格段に落ちて静かに読める。量・質ともに夜の3時間は貴重だ。意外に時間をとるコピー作業も、その時間帯であれば列を作らずにゆっくりできる。

18時閉館時代には夜に備えて館外帯出した本を遠く離れた研究室までつけ物石みたいに運ぶという手間がかかったが、それも今は懐かしい思い出だ。(法学部教授 西山雅明)

午後6時すぎ、窓外が闇に包まれてくると賑やかだった館内に静寂が訪れる。カウンターから螢光灯を借りてきて点灯します。ほの白い灯の中に活字が浮かび上がってくる。これから閉館までが一番集中して勉強できる時間である。9時少し前、いつもの「閉館〇分前です。……」の館内放送をきくと、「今日も一日終わった。」という、はっきりとした気持ちになる。図書館職員の皆さん、武末さん梅津さん、毎日大変ですが、今後共よろしくお願いします。(法学部3年 富田裕子)

「今日は」「お疲れさん」の繰り返して一年が過ぎました。素敵な図書館の人々に包まれ素晴らしい学生諸君と人生の倫理、実践を語る。なんと幸な老兵でしょう。喜び悲しみが創り出す若人独得の人間模様挑戦する叫びと行動力、切々と身を感じさせられます。青春再び来たらず。悔いの無い現在と未来をお互に持ちたいものです。夜間開館は勉学の場として恵まれた環境と信じます。青春の忘れ得ぬ思い出の一つとなるよう利用して下さい。(夜間担当 武末悉昌)





ハーラン・ハッチャー大学院図書館

10月に入ったある朝、通学の途中ふと気がついてみると、昨日まで青々と繁っていたキャンパスの樹々が、一斉に紅葉しているではありませんか。それからほんの2・3日もたたぬうちに、紅葉は黄金色になったかと思うとそれも束の間、ある日突然、何のためらいもなく落葉してしまいました。それは、はかなさを感じさせるには余りにも鮮かな変りざまで、恰も今日のアメリカの一断面を見せられる想いでした。これが、私のミシガン大学留学の最初に味わったカルチャー・ショックだったのです。同じアメリカとは言え、私が以前留学していた南部のテキサスに比べると、中西部のミシガンは全くの別世界です。あらためてアメリカ大陸の広さを感じさせられました。

ミシガン大学のあるアナーバー市は、自動車産業で有名なデトロイト市の郊外にある小さな町です。もともとデトロイトにつくられた大学が暫くしてアナーバーに移されたのだそうです。それでも大学としては、1837年の創立以来140年の歴史を持っていると言われています。もちろんヨーロッパの諸大学に比べるとズッと若いものの日本のどの大学よりも旧く、それなりに歴史や伝統を感じさせます。今日では学生数4万を越える総合大学へと発展して量の面での拡大とともに質の面での向上にもかなりの努力が払われているようです。

我が国ではミシガン大学と言えばもっぱら英語教育の面で高く評価されているようですが、驚いたことには、それは「英語の西南」に似た外部の評価に過ぎず、アメリカ国内ではむしろ医学部、心理学部などの部門の方がズッと高い評価を受けているようです。ただ、部分的評価の違いは別として、全学的立場において今日のミシガン大学が教育と研究の面において極めて高い評価を受けていることは確かなことです。

アイビー・リーグのしにせ的存在に比べれば些か新興スーパーの賑がなきにしもありませんが、それだけに学生の間には「追い付け、追い越せ」の掛け声も高く、「ウィアー・ナンバーワン」の合言葉まで流行しているのを

## ミシガンの秋

文学部教授 泉 マス子

見るとほほえましくなります。このように距離をおいて見ることが出来るのも外人の特権でしょうか。それにしても学生の競争意識もさることながら研究の場における教授間のより烈しい、より屈折した競争意識には傍観者である私でさえ手に汗を握る想いでした。このような全学に漲るエネルギーを昇華させるためでしょうかキャンパス内には至る処に図書館が散在しています。

学部図書館をはじめ、各学科が備えている小図書館から、ハーラン・ハッチャーと呼ばれる大学院図書館に至るまで数え上げると35にのぼる図書館があり、500万冊を越える書籍の殆どが開架で並べられています。ついでにつけ加えますと、元大統領フォード氏はミシガン大学の出身ということで、氏の業績を記念してフォード図書館が建設される運びとなり、現在すでに工事が進められています。完成のあかつきには、氏の大統領在任中発行された種々のドキュメントが収められる予定とのことです。

私は主として大学院図書館を利用していました。さすがにその膨大な規模と高度の機能性には目を眩ましたものがありました。総合目録室には500万冊分の目録が明確に分類され、貸出中の図書については直ちにコンピューターが情報を提供して呉れます。入手不可能な図書については、ハーバード、プリンストンをはじめ、近隣の大学から借入れが出来るように手続をとって呉れます。とりわけ私が感心したのは、職員の図書についての豊富な専門知識と迅速なサービス振りでした。今回の留学を通して、私なりにかなりの資料を収集できたのは、ひとえにこの図書館を利用出来たお蔭だと感謝しています。

キャンパスがスッポリ雪に覆われる11月から4月までの期間、図書館の利用者も減るのではないかと思いましたが、予想に反して、朝7時から夜12時まで、4階までの各閲覧室が空席もない程に学生で埋められていたことも強く印象に残っています。

今はもう秋、ミシガンでは紅葉の季節も終り、読書に身を埋める冬の季節がやがて訪れようとしているのではないのでしょうか。

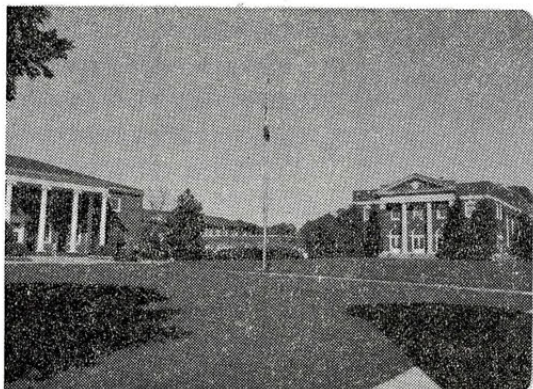
## Education, a Changing World, and a Small College Library

Jeremy Spencer



As Alvin Toffler points out in Future Shock, the progression of knowledge is essentially geometric, much like the growth of population. As a result, unlike the ancient Alexandrian Library, few modern libraries can hope to be comprehensive. For this reason the Curry Library at William Jewell College carefully chooses its 600 subscriptions to specialized journals, while its computer link with other Kansas City area libraries maximizes its access to information otherwise difficult to obtain. Students constantly use the first floor index area, with its indexes covering almost every subject. Finding index references, students have easy access to the many years of back issues kept on a lower floor. Microfilm and microfiche collections now being developed will help the college reduce the bulk of its back issue material.

Moreover, through the government's work-study program, one can become a part-time library employee. Working in the special collection's department processing incoming books and papers of the Mertins collection, I was able to pay a semester's personal expenses. Later I worked in the circulation department, but from both experiences I gained an appreciation of the special problems of organizing and dispensing library material. No longer can I see librarians as those merely "behind the desk."



William Jewell College 左 Library 右 Chapel

The William Jewell College library has this philosophy; granted that the college library is to be a microcosm for the college community, its use must be the key to education in the liberal arts.

(筆者はウィリアム・ジュエル大学から交換留学生として来学、53年9月から54年5月まで留学生別科学生として本学に在籍します。)



# 第10回 国連寄託図書館会議に出席して

杉 野 哲 谷

私は、国連寄託図書館業務に携わって、1年未満、国連図書館会議に初めて出席、しかも、レファレンス事例報告、新刊図書の紹介と2つの発表がある、という様にかなりの不安と、それから、北海道という何か遠くの方へ行くということへの期待、こういう不安と期待が相互

に錯綜した複雑な気持ちで出発当日を迎えた。

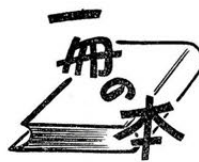
9月20日(水)午前10時55分、予定通り福岡空港を出発した。札幌は、思ったより寒くなく福岡とあまり変わりはない様に思われた。しかし、もう木の葉などは色づいて美しく太陽の光に輝いて見えた。

9月21日(木)9時30分受付開始より、会議は2日間の日程で若干の修正を加えながら進んでいった。主な項目を進行の順に挙げると、(1)北大経済学部の新哲也教授による「南北問題について」と題しての記念講演、(2)各館のレファレンス事例報告、(3)新刊図書の紹介、(4)国立国会図書館の石川さんによる「国際連盟、連合関係の文献書誌類の内容比較分析結果報告」、(5)東大図書館の浜村さんによる「新国際経済秩序に関する文献について」自製の「文献リスト」を資料に発表、(6)国連への要望と次期開催地について、などである。その中で1、2少し深入りしてみると、(2)では相互に、親切的な助言や、参考資料の提供などがあり大変役立った。また(4)では、主に「国際連盟、連合刊行資料目録」第4巻 作成の動機、構成、文献の記載方法について、また、いかに収集分類するかの苦心についても話された。特に和書の関連文献を取り過ぎてそれを減らすのに苦心された話など興味深かった。会議の合い間の映写会「大いなる峰」や「流氷」また昼食などもなかなか凝っていて大変楽しいものでした。今回の会議は、国連寄託図書館業務をやって行く上に、大変役立つ有意義のものでした。(本館司書 資料・国連係)

久野 収、鶴見俊輔、藤田省三

## 「戦後日本の思想」

中央公論社 昭和34年



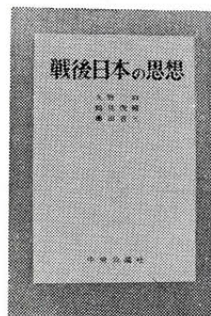
学生諸君に対して、何か1冊の本を紹介することが、いざとなるといかに困難であるかを感じつつ、ひとまずこの本を選んでみました。

第二次大戦での敗北を経験した日本人であるわれわれにとって、戦後をどう生きていけばいいのか、何を新しい価値として追求していけばいいのかが、問われ求められてきましたが、この本は出版された時点での一つの総括であり点検であり、その後への本格的な見直しへの手引きを与える役割をはたそうとして書かれたものです。専門を異にしながらも、広い視野と柔軟な発想で、しかもかなり深く厳しく思想を歴史の土壌の中で論じ合っていく三人の対話の中から、何かを学びとることができると思います。

主題を大きく六つあげ、一人が問題提起をし、「思想を出来あがった理論の姿で切りとって論じるのではなく」「一方では思想以前のエトスと関係させ、他方では思想以後の現実的帰結と関係させてとりあげるという角度」(序文)で三人の自由な討論が展開されています。知識人と生活者(大衆)とのかかわりを重視する発想を根底にすえ、多くのインテリゲンチヤと呼ばれる人々とその作品を取り上げ、その一人ひとりの発想、姿勢、現実の生き方とかかわらせて論じています。

柱は、「知識人の発想地点」(「近代文学」グループ)、「反体制の思想運動」(民主主義科学者協会)、「日本の保守主義」(「心」グループ)、「大衆の思想」(生活綴り方・サークル運動)、「社会学者の思想」(大塚久雄・清水幾太郎・丸山真男)、「戦争体験の思想的意味」(知識人と大衆)の六つで、参考文献と戦後思想史年表もあり、専門を超えて「考える事」の意味を考えさせてくれる本の一つだと思います。

(文学部教授 門田見昌明)



※同じ本は入手不可能である。現在野草書房、講談社より発行されており図書館にも在庫しています。(分類番号 121.9.8)

# 昭和52年度図書館利用統計

●どんな内容のものがどれだけ増加したか

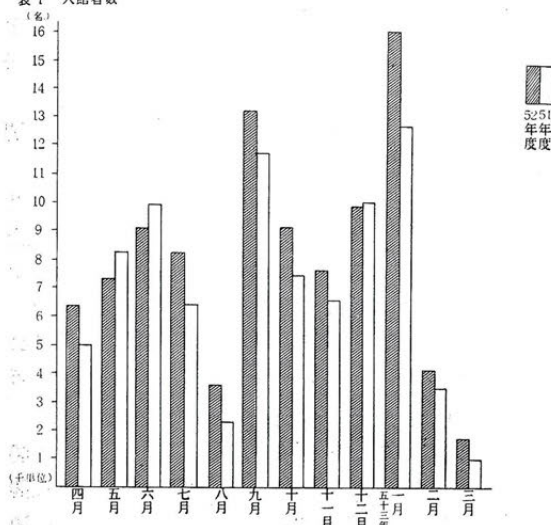
(単位 冊)

| 分類          | 000   | 100   | 200   | 300   | 400  | 500 | 600   | 700 | 800 | 900   | 計      |
|-------------|-------|-------|-------|-------|------|-----|-------|-----|-----|-------|--------|
| 区分          | 総記    | 哲学    | 歴史    | 社会科学  | 自然科学 | 工学  | 産業    | 芸術  | 語学  | 文学    |        |
| 和書          | 288   | 1,007 | 689   | 3,775 | 695  | 269 | 796   | 530 | 240 | 1,144 | 9,433  |
| 洋書          | 1,296 | 596   | 395   | 1,867 | 174  | 45  | 357   | 91  | 636 | 2,764 | 8,221  |
| 計           | 1,584 | 1,603 | 1,084 | 5,642 | 869  | 314 | 1,153 | 621 | 876 | 3,908 | 17,654 |
| 前年度<br>和洋合計 | 3,464 | 1,464 | 991   | 5,266 | 538  | 201 | 1,034 | 467 | 824 | 2,541 | 16,790 |

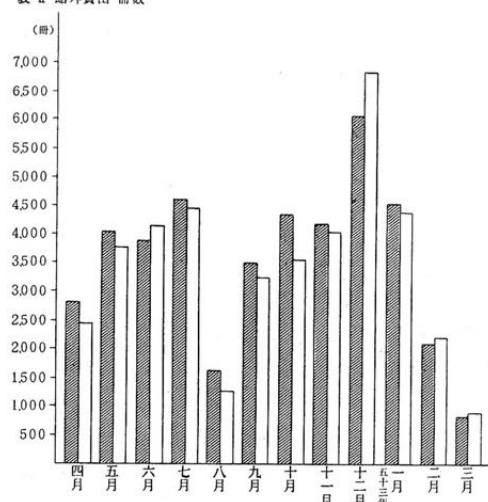
| 視 聴 覚 資 料 |       |          |     |
|-----------|-------|----------|-----|
| レコード      | テープ   | マイクロフィルム | 計   |
| 78枚       | 2 リール | 40 リール   | 120 |

●この2年間にどれだけ利用されたか

表Ⅰ 入館者数



表Ⅱ 館外貸出冊数



●その他の利用統計

○文献複写

| 学<br>内 |      | 電子複写            | マイクロフィルム    |
|--------|------|-----------------|-------------|
|        | 教 員  | 545件<br>19,708枚 | 7件<br>816コマ |
|        | 学 生  | 2,826           | 38,141      |
|        | 公用事務 | 883             | 14,813      |
|        | 計    | 4,254           | 72,662      |
| 学<br>外 | (受付) | 81              | 3,436       |
| 合 計    |      | 4,335           | 76,098      |

○特別利用者

240名 (172)

卒業生 134名 (109) 聴講生 36名 (13)  
相互利用 51名 その他 19名 (50)

○視聴覚機材貸出 19件 (37)

○学生図書購入希望 97件 (130)

○投 書 5件 (2)

○紛失弁償図書 22冊 (23)

○閉架図書閲覧者 1,321名 (1,488)

卒業論文 200名 (370)  
図書 746名 (591)  
文庫 62名 (80)  
その他 (新聞・雑誌) 313名 (447)

※ ( ) 内は51年度



## ☆お知らせ・ニュース・NEWS☆

## ＜新図書館委員紹介＞

|       |                 |
|-------|-----------------|
| 神学    | 青野 太潮先生         |
| 英文    | 大森 衛先生          |
| フランス語 | 西村 牧夫先生, 末松 寿先生 |
| 商学    | 井田 雄平先生         |
| 経済学   | 山村 延昭先生         |
| 法学    | 岡村 堯先生          |
| 教養    | 平野 正先生          |
| 児教    | 門田見 昌明先生        |

(任期 53.7.1～54.6.30)

## ＜図書館委員会＞

- 昭和53年4月21日 53年度予算等を審議
- 昭和53年5月19日 総記部門、図書費の配分を審議
- 昭和53年6月9日 私大助成等を審議
- 昭和53年7月20日 図書館懸案事項を審議

## ＜研修・出張＞

- 53年度九州地区大学図書館協議会 於・大分市  
53.5.12 刀根司書長, 杉本課長補佐出席
- 53年度私大図書館協会西地区部会  
於・愛知学院大学  
53.5.26 刀根司書長出席
- 53年度福岡県・佐賀県大学図書館協議会福岡地区研究会(第1回研究会) 於・福岡工業大学  
53.7.18 刀根司書長出席
- 53年度私大図書館協会総大会 於・京都市  
53.7.27～29 八木館長出席
- 53年度文化庁著作権講習会 於・長崎市  
53.9.12～13 荒川司書, 香川司書補出席
- 53年度国連寄託図書館会議 於・北海道大学  
53.9.21～22 杉野司書出席
- 53年度私大図書館協会九州地区協議会・研究会  
於・熊本商科大学  
53.10.6 品川, 大塚, 府川司書補出席
- 53年度全国図書館大会 於・青森市  
53.10.12～14 八木館長出席
- 53年度私大連盟図書館研修会 於・静岡県  
53.10.30～11.1 松本, 板谷司書補出席
- 53年度私大図書館協会西地区部会  
於・松山商科大学  
53.11.10 今永係長出席(予定)

## ＜福岡県・佐賀県大学図書館協議会総会開催＞

53.6.2 本学において開催され、30館46名の参加者がありました。

## ＜ウォーター・クーラー(冷却飲料水)の設置＞

図書館の2, 3, 4, 5階に各1台設置しました。

## ＜学術雑誌総合目録人文・社会科学欧文編の編集のためのデータ提出＞

文部省では、学術情報事業の一環として、大学図書館等における文献の相互利用に資するため、従来から学術雑誌総合目録(自然科学欧文編, 和文編及び人文科学欧文編, 和文編)を刊行してきましたが、このたび人文・社会科学の欧文編の刊行については、東京大学情報図書館学研究センターにおいて行なわれることになり、そのための所蔵データの提出依頼がありました。本学においてもこの事業に協力し、本館分945タイトル、神学部分館分77タイトルを9月中旬に提出しました。

## ＜本学所蔵の学術雑誌目録欧文編の刊行＞

かねてより利用者から刊行を望まれていました本学所蔵(神学部分館所蔵分を含む)の学術雑誌目録のうち欧文編をこのたび刊行しました。利用者の方の利用を期待します。これにひきつづき本年度内に和文編の準備を終え、欧文, 和文を一本として西南学院大学所蔵学術雑誌目録を刊行する予定にしております。

## 告知板

- 大学祭期間中の開館  
2階以上 平常通り開館 1階学習室 閉室
- 冬休長期貸出  
学部学生, 別科生 12月15日(金)～1月6日(土)  
大学院生 10月26日(木)～11月17日(金)  
冊数 学部学生 5冊以内 別科生 10冊以内  
大学院生 20冊以内(平常通り)
- ※いずれも1月18日(木)が返却期限になります。
- 冬季休暇中の開館時間および休館日  
12月25日(月) クリスマス休館  
26日(火) 9:00～21:00開館  
27日(水) 9:00～12:00開館  
28日(木)～1月5日(金) 年末年始休館  
1月6日(土) 9:00～21:00開館
- ※この間1階学習室は閉室  
1月8日(月)より平常開館
- 論文用特別貸出について  
学部学生の卒業年次生は卒業論文作成のための特別貸出を受けることができます。通常の貸出のほかに3冊以内、期限は1カ月以内です。  
大学院生(博士・修士)は、図書5冊の特別貸出を受けることができます。期限は、2カ月以内です。
- 卒業生の卒論閲覧手続きについて  
卒論作成の参考のため、図書館に保管されている諸先輩の卒論をゼミ担当教授の承認を経て閲覧することができます。希望者は予め受付で用紙をもらってください。なお、館外貸出はできません。請求番号は3階の目録カード(ゼミ別に配列しています)で調べてください。

## 昭和53年度 指定図書目録

( Reserved Books )

指定図書とは、講義担当の先生方が、その講義に直接関連して学生に必ず参考にしてもらいたい図書を指定されたものです。年間を通じて2階閲覧室に備えております。なお、講義区分は学生便覧を参考にしました。

## 教養課程・文学部 (国際文化)

## 平野 正 &lt;東洋史学&gt;

- 中国現代政治史 池田 誠 法律文化社  
 中国の対外政策と国際関係 山口正之 日中出版  
 現代中国文学の理論と思想 丸山 昇 日中出版  
 現代中国の法と政治 稲子恒夫 日中出版  
 毛沢東研究 柳田謙十郎 日中出版

## &lt;近代中国史&gt;

- 中国大躍進政策の展開 上・下 日本国際問題研究所  
 中国現代史研究序説 今堀誠二 勁草書房  
 中国近代経済史研究序説 田中正俊 東大出版会  
 中国共産党史資料集 1～12巻 日本国際問題研究所  
 勁草書房  
 新中国資料集成 1～5巻 日本国際問題研究所

## 河野 信子 &lt;キリスト教学(I)&gt;

- 原色聖書の歴史 テリエン 創元社  
 キリスト教概論 浅野順一 創文社  
 キリスト教概説 米倉 充 国際日本研究所  
 旧約聖書の思想 興昭正敏 新教出版社  
 日本人と聖書 山本七平 TBSブリタニカ

## 久屋 孝夫 &lt;英語 (1)&gt;

- 英語べからず小事典 松本安弘 荒竹出版  
 英書への招待 松本安弘 荒竹出版  
 比較生活文化事典 金山宣夫 大修館  
 論集・日本文化 1～3 梅棹忠夫(他) 講談社  
 ヨーロッパの個人主義 西尾幹二 講談社

## &lt;英語 (2)&gt;

- ことばの意味 柴田 武 平凡社  
 ことばと文化 鈴木孝夫 岩波書店  
 日英語の比較 福原麟太郎(他) 研究社  
 日英比較表現論 榎垣 実 大修館  
 日本語 金田一春彦 岩波書店

## 松本 達郎 &lt;自然科学概論&gt;

- 科学史通論 島村福太郎(他) 関東出版  
 自然科学概論 浜 健夫(他) 関東出版

## &lt;進化論&gt;

Pattern of evolution. Hallam

Elsevier

## 王 孝 藤 &lt;東洋古典思想&gt;

- 中国文学史 前野直彬 東大出版会  
 中国の古典名著総解説 自由国民社  
 中国思想史 東大中国哲学研究室 東大出版会  
 中国哲学を学ぶ人のために 本田 濟 世界思想社  
 東洋の道 正・続 岡田武彦 明德出版社

## 佐渡谷 重信 &lt;日米比較文化論&gt;

原典アメリカ史 1～5巻 日本アメリカ学会

岩波書店

日本とアメリカ 1～3 亀井俊介(他) 南雲堂

## シート, L.K. &lt;キリスト教学(2年)&gt;

- 現代キリスト教講話 熊沢義宣 新教出版社  
 光あるうちに 三浦綾子 主婦の友社  
 キリスト教入門 矢内原忠雄 角川書店

## &lt;キリスト教学(4年)&gt;

イエスの言葉による行動のための手引き

飯沼二郎 日基教団出版局

生きる道 松永晋一

新教出版社

キリスト教と現代 船本弘毅

日基教団出版局

社会運動とキリスト教 工藤英一

YMCA

## 山中 耕作 &lt;日本文学&gt;

- 平家物語全注釈 上・中・下 富倉徳次郎 角川書店  
 方丈記全注釈 築瀬一雄 角川書店  
 日本人と祖霊信仰 白石昭臣 雄山閣  
 沖縄の祭りと芸能 当間一郎 雄山閣

## 文学部 (英語・英文)

## 江崎 義彦 &lt;英文学講読&gt;

- 文学評伝 コウルリッジ 法政大学出版局  
 コウルリッジ研究 桂田利吉 法政大学出版局  
 エクスタシーの系譜 高橋康也 あほろん社  
 グロテスクの系譜 クレイバラー 法政大学出版局  
 講座英米文学史 3 加納秀夫(他) 大修館



## &lt;英 作 文&gt;

- あなたの英語診断辞書 松本安弘 北 星 堂  
 英文を書く為の辞書 Daniels 北 星 堂  
 英文リポートの考え方と書き方 瀧川元男 南 雲 堂  
 英語語法辞典 石橋幸太郎(他) 大 修 館  
 黒 瀬 保 <英文学(大学院)>  
 The laud Troy book. Wülfing Kraus  
 Lydgate's fall of princes. 1・2 Lydgate Oxford Univ.  
 Lydgate's Troy book. Lydgate Kraus  
 The romance of Emaré. Rickert Oxford Univ.  
 久 屋 孝 夫 <英文法(2・1)>  
 英米文学科ガイド 瀧川元男 南 雲 堂  
 英語辞書の知識 佐藤 弘 八潮出版社  
 英語の型と語法 第2版 ホーンビー

オックスフォード大学出版局

現代英語文法 一コミュニケーション編一

リーチ(他) 紀伊国屋書店

語法の調べ方 大塚高信 研 究 社

## &lt;英 作 文&gt;

- 英米の辞書 永嶋大典 研 究 社  
 英語の辞書の話 加島祥造 講 談 社  
 基本図書の解説 福原麟太郎(他) 研 究 社  
 構造的意味論 国広哲弥 三 省 堂  
 日本語と英語 長谷川 潔 サイマル出版会

## 岡 正 樹 &lt;英文法&gt;

A communicative grammar of English. Leech

Longman

A guide to patterns and usage in English. Hornby

Oxford Univ.

海外英語学論叢 '74~'77 安井 稔(他) 英 潮 社

## 佐渡谷 重 信 &lt;米文学史&gt;

アメリカ文学史 大橋健三郎(他) 明治書院

現代アメリカ文学史 ケイジン 南 雲 堂

総説アメリカ文学史 大橋健三郎(他) 研 究 社

## &lt;演 習&gt;

教養小説の展望と諸相 しんせい会 三 修 社

## &lt;比 較 文 学&gt;

比較文学 ティーゲーム 清水弘文堂

比較文学 吉田精一 潮 文 社

比較文学の理論 芳賀 徹(他) 東大出版会

日本近代文学の成立 上・下 佐渡谷重信 明治書院

## 文 学 部 (仏語・仏文)

## 中 村 栄 子 &lt;フランス語作文(II)&gt;

フランス文法事典 朝倉季雄 白 水 社

フランス基本熟語3,000語 佐藤房吉(他) 白 水 社

現代フランス語法辞典 リーチ(他) 大 修 館

## &lt;フランス文学概論&gt;

フランス文学辞典 フランス文学会 白 水 社

フランス文学史ノート 河盛好蔵(他) 駿河台出版社

立体フランス文学 篠沢秀夫 朝日出版社

## 末 松 壽 &lt;講読(演劇)&gt;

En attendant Godot. Beckett Minuit

プレヒト戯曲全集 1 プレヒト 白 水 社

Le théâtre. III Ionesco Gallimard

Le théâtre d'avant-garde en France. Pronko Denoël

Le théâtre nouveau en France. Corvin

Univ. de France

## 文 学 部 (児童教育学科)

## 堺 太 郎 &lt;演 習&gt;

心身障害児教育講座 全5巻 福村出版

障害児教育の今日的課題 全8巻 福村出版

## &lt;児童福祉学&gt;

現代日本の児童福祉 木村武夫(他) ミネルヴァ書房

児童福祉の理論と実践 補訂版 井上 肇 川島書店

児童福祉六法 昭和53年版 中央法規

厚生白書 昭和52年度版 厚生省 大蔵省印刷局

## &lt;社会福祉学(I)&gt;

福祉の動向 1977年版 全国社会福祉協議会

福祉の思想 糸賀一雄 N H K

解説社会福祉 一番ヶ瀬康子 医歯薬出版

社会福祉事業辞典 増補新版 塚本 哲(他)

ミネルヴァ書房

社会福祉六法 昭和53年度版 新日本法規

## &lt;社会福祉学(II)&gt;

社会福祉事業辞典 増補新版 塚本 哲(他)

ミネルヴァ書房

社会福祉の方法 重田信一(他) 川島書店

## &lt;養護原理(II)&gt;

乳幼児臨床心理学 岩城正彦(他) 川島書店

施設保育・養護の実際 小林提樹(他)

日本小児医事出版

障害児(者)の生涯と教育 5巻 高橋彰彦(他)

福村出版

## &lt;保育実習(I・III)&gt;

保育ガイドブック 岡山県保育所保母の会 川島書店

保育所実習 珠川善子(他) 川島書店

保育所における乳児保育 松本武子(他) 家政教育社

児童養護実習 齊藤 謙 川島書店



## 上野 武 &lt;教育哲学&gt;

教育人間学入門 ゲルナー

理想社

人間形成原論 森 昭

黎明書房

## &lt;保育原理&gt;

世界の幼児教育 小川正通

明治図書

幼児教育の源流 莊司雅子(他)

明治図書

幼児教育史 ラスク

学芸図書

## 商 学 部

## 後藤 泰二 &lt;保険論&gt;

保険経済概論 馬場克三(他)

国元書房

## 土方 久 &lt;簿記原理(I)&gt;

簿記学入門 木村和三郎(他)

森山書店

簿記論 泉谷勝美

森山書店

工業会計入門 木村和三郎(他)

森山書店

日本財務諸表制度の展開 片野一郎

同文館

損益計算論 山下勝治

泉文堂

## &lt;会計学原理&gt;

英国簿記発達史 小島男佐夫

森山書店

貨幣価値変動会計 片野一郎

同文館

会計利益測定論 中野 勲

中央経済社

連結財務諸表問題精説 武田隆二

同文館

利潤計算原理 岩田 巖

同文館

## 井上 康男 &lt;原価計算論&gt;

演習原価計算論 井上康男

同文館

現代原価計算 増補 角谷光一

中央経済社

経営診断の理論と実際 新版 高野太門 中央経済社

近代管理会計論 染谷恭次郎

中央経済社

やさしい連結財務諸表のはなし 森田松太郎 同文館

## &lt;管理会計論&gt;

付加価値会計 青木 脩(他)

中央経済社

これからの企業予算制度 中山 論

第一法規

リースの実務知識 新版 庄 政志

商事法務研究会

戦略経営計画 スタイナー

ダイヤモンド社

ゼロベース計画の実際

日本能率協会

## 糸 園 辰 雄 &lt;商学総論&gt;

現代マーケティング論 白髭 武

日本評論社

商業資本と流通問題 橋本 勲

ミネルヴァ書房

## &lt;中小企業論&gt;

現代中小企業論 竹林庄太郎

ミネルヴァ書房

現代の企業分析 野村秀和

青木書店

日本の小零細企業 上・下 渡会重彦 日本経済評論社

西独輸出産業の下部構造 久保田英夫

文真堂

## 小 森 俊 介 &lt;マーケティング論&gt;

自動車のマーケティング 福田 稔

東洋経済

小売商圏論 山中均之

千倉書房

マーケティングにおける国際性と社会性

荒川祐吉(他)

千倉書房

## &lt;広告論&gt;

アドバタイジング マネジメント 上・下

アーカー(他)

東洋経済

現代の広告 村田昭治(他)

同文館

PRの設計 加藤三郎

東洋経済

## 白樫三四郎 &lt;演習(I)&gt;

科学論文の書き方 田中義啓(他)

裳華房

企業と組織 横田澄司(他)

至文堂

リーダーシップ 三隅二不二

ダイヤモンド社

職場の人間行動 山田雄一(他)

有斐閣

組織科学 10巻 第4号

丸 善

## &lt;演習(II)&gt;

新しい管理者像の探求 フィードラー 産業能率短大

個人の社会行動 水原泰介 東大出版会

小集団のバランス ティラー

誠信書房

集団行動 末永俊郎

東大出版会

集合現象 池内 一

東大出版会

## 経 済 学 部

## 原田三喜雄 &lt;日本経済史&gt;

日本経済史 石井寛治

東大出版会

日本経済史 山口和雄

筑摩書房

## &lt;演 習&gt;

現代産業論の構造 富山和夫

新 評 論

産業構造の長期ビジョン 産業構造審議会

通商産業調査会

産業構造論 稲毛満春

東洋経済

産業構造ビジョン実現のために 産業構造審議会

通商産業調査会

産業政策 篠原三代平(他)

日経新聞社

## 木 村 毅 &lt;社会政策総論&gt;

現代福祉経済論 向井喜典(他)

青木書店

現代社会政策 吉村朔夫(他)

有斐閣

労働経済学入門 桜林 誠

ダイヤモンド社

社会政策の歴史 小川喜一

有斐閣

総合社会政策を求めて 経済企画庁 大蔵省印刷局

## &lt;社会政策各論&gt;

中小企業労働者と最低賃金制 永山武夫 文真堂

現代労働問題 戸塚秀夫(他)

有斐閣

年功賃金の終焉 孫田良平

日経新聞社

労働運動の展開と労使関係 飯田 鼎

未来社

高齢化社会の衝撃 田中博秀

ダイヤモンド社

## &lt;演習(I・II)&gt;

厚生白書 昭和52年版 厚生省 大蔵省印刷局  
 労働白書 昭和52年版 労働省 大蔵省印刷局  
 迫りくる年金革命 社会保障研究所  
 統計日本経済分析 上・下 統計指標研究会  
 新日本出版社

## マッキニー, J.A. &lt;国際経済論特講&gt;

Economic development. Morgan ( )  
 International economics. Kenen Prentice-Hall  
 (訳書) 国際経済学 同上 東洋経済  
 International economics. Kindleberger Irwin  
 (訳書) 国際経済学 同上 評論社  
 The international economics of development. Meier  
 Harper  
 (訳書) 開発の国際経済学 同上 ダイアモンド社  
 International monetary relations. Yeager Harper  
 Leading issues in economic development. Meier  
 Oxford Univ.  
 Problems of a world monetary order. Meier  
 Oxford Univ.  
 Problems of trade policy. Meier Oxford Univ.  
 World trade and payments. Caves Little, Brown

## 法 学 部

## 伊藤不二男 &lt;国際法 (I・II)&gt;

基本条約・資料集 田畑茂二郎 有信堂  
 国際法 横田喜三郎 有斐閣  
 国際条約集 横田喜三郎(他) 有斐閣

## 河島 幸夫 &lt;政治学原論&gt;

平和の思想史的研究 宮田光雄 創文社  
 キリスト教倫理入門 ミュラー YMCA  
 マキアベリよりレーニンまで フォルレンダー 創文社

宗教社会学 ウェーバー 創文社  
 ウェーバーとその社会 上山安敏 ミネルヴァ書房

## &lt;政治史&gt;

ドイツ文学史 上・下 増補版 相良守峯 春秋社  
 ドイツ現代史 村瀬興雄 東大出版会  
 ワイマル共和国 林 健太郎 中央論社  
 ヴァイマル共和国成立史 ローゼンベルグ

みすず書房

ヴァイマル共和国史 ローゼンベルグ 東邦出版社

## &lt;基礎演習&gt;

法哲学 ヘーゲル 中央論社  
 近代史における国家理性の理念 マイネッケ  
 みすず書房  
 キリスト教史 I・II 半田元夫(他) 山川出版社  
 世界市民主義と国民国家 I・II マイネッケ

岩波書店  
 主権・抵抗権・寛容 佐々木 毅 岩波書店

## &lt;外書講読&gt;

近代外交史 北島平一郎 創元社  
 近代政治史とカトリシズム 西川知一 有斐閣  
 教会史概論 レーヴェニヒ 日基教団出版局  
 マックス・ウェーバーの社会理論 青山秀夫

岩波書店

マックス・ウェーバー社会・政治・歴史 モムゼン  
 未来社

## &lt;演 習&gt;

ルター著作集 1,2,3,6,8,9,10巻 ルター 聖文舎  
 我がここに立つ ベイントン 聖文舎  
 ヨーロッパのニヒリズム レーヴィト 筑摩書房

## 岡村 堯 &lt;国際経済法&gt;

独占禁止法を学ぶ 正田 彬(他) 有斐閣

## 高橋 貞夫 &lt;労働法(I)&gt;

官公労働基本権の法構造 坂本重雄 労働旬報社  
 公共部門の争議権 兵藤 剣 東大出版会  
 公労法の理論と実際 峯村光郎 勁草書房  
 労使関係法運用の実情及び問題点 労使関係研究会

日本労働協会

ストライキ権 中山和久 岩波書店

## 田 辺 康 平 &lt;商法 (III)&gt;

会社法 I・II 上柳克郎(他) 有斐閣  
 コメンタール会社法 1・2 今井 宏(他) 有斐閣  
 商法入門 1 河本一郎(他) 有斐閣

## &lt;商法 (IV)&gt;

注釈手形法・小切手法 大隅健一郎(他) 有斐閣  
 保険法 新版 田辺康平 ミネルヴァ書房  
 商法判例(全2巻) 上柳克郎(他) 有斐閣  
 商法入門 2 河本一郎(他) 有斐閣  
 手形・小切手法を学ぶ 菅原菊志 有斐閣